

# 平成 27 年度第 1 回 上越市（高田地区・直江津地区）中心市街地活性化協議会 議 事 要 旨

日 時： 平成 27 年 9 月 11 日（金）10 時 30 分～11 時 40 分

場 所： 上越商工会議所 3 階大ホール

出 席 者： 委員 35 名（委員総数 48 名）

委員外 5 名（オブザーバー 5 名）、事務局 4 名

議事要旨： 下記のとおり

## 1. 協議会会長あいさつ

- 本日は、昨年度の事業報告と決算報告、並びに今年度の事業計画案と予算案の承認のほか、中心市街地活性化に関する各種報告のため、例年より遅い時期となったが、委員の皆様にお集まりいただいた。
- 報告事項として、高田地区においては、あすとぴあ高田とイレブンラザの現況報告を、直江津地区においては、平成 30 年度開業予定の新水族博物館を核とした地域活性化策の検討状況報告を行っていただく。
- 高田地区、直江津地区それぞれの中心市街地の状況を確認いただくとともに今後の更なる活性化に向け、皆様から忌憚ないご意見等を頂きたい。

## 2. 交代構成員の紹介

- 事務局より、別添資料に基づき交代委員を紹介。対象委員は 12 名。

## 3. 議 題

### 1) 平成 26 年度事業報告について

- 事務局より、別添資料に基づき説明。審議の結果、異議なく承認。

### 2) 平成 26 年度収支決算報告並びに監査報告について

- 事務局より、別添資料に基づき説明。その後、佐藤隆義会計幹事（上越商工会議所青年部 会長）より監査結果を報告。審議の結果、異議なく承認。

### 3) 平成 27 年度事業計画（案）について

- 事務局より、別添資料に基づき説明。審議の結果、異議なく承認。

### 4) 平成 27 年度収支予算（案）について

- 事務局より、別添資料に基づき説明。審議の結果、異議なく承認。

### 5) 中心市街地活性化プログラム（中活 PGM）のフォローアップ報告について

- 上越市産業振興課 商業・中心市街地活性化推進室より、別添資料に基づき、中活 PGM の平成 26 年度フォローアップの概要及び高田地区・直江津地区歩行者交通量調査結果報告（速報値）を報告。

#### 【質疑・意見交換】

（委員）主な成果が 4 点挙げられている。成果であれば、数値で示してほしい。

（市） イベントの集客人数なら示せるが、その他は厳しい。今回の成果は、事業を行う各団体の声を聞いた上で取りまとめた。

（委員） 27 年度以降は、目標数値を加えていただきたい。

（市） 中活 PGM の次期修正時に加えるものとしたい。

（委員） 高田小町前の歩行者交通量が増えたのは、高田世界館の影響。以前は、一年間に約 2,000 人の来館であったが、最近では、映画上映や施設見学等で月に 1,500 人程度が来場しており、今年は 1 万人くらいになるだろう。人が増えているところに力を入れるのが活性化の常道だろう。本町六・七丁目に

ある高田世界館や雁木、町屋などの資源に目を向けていただきたい。空き店舗だけでなく空き家対策も講じるべき。外部からの来館・来街が多い状況であり、交流人口を増やす意味で、本町六・七丁目も支援をしてほしい。

(委員) 歩行者交通量の数字を見る限り、賑わいがなくなっているのは明らか。特に中心部である高田駅前、旧共同ビル前、雁木通りプラザ前の3箇所であれば、大幅に減少しており、成果としては挙げられないと考える。北陸新幹線開業の影響で、高田駅に用事のある人が減っており、同駅に隣接する市営駐車場の利用も減っている。普通切符は買えるもJRの割引券は買えない、新幹線との接続が非常に悪いなど、同駅の利便性が悪くなったのも一因。今回の調査結果を受け、市は政策としてどのようなことを考えているのか伺いたい。市と現場(民間)の感覚が大きく乖離していると感じる。

(協議会長) これまでの委員の意見について、市側でも検討していただきたい。

(委員) 商店街でも、歩行者が大きく減少していることは実感している。車の量も減ってきている感がある。飯から国道18号線につながる道が開通した影響だろう。市民の利便性向上が、中心市街地に悪影響を及ぼしている格好。来客が減ったことで、営業不振や閉店にもつながっている。活性化の方策として、旧第四銀行高田支店跡地の利活用が重要と考えている。高田地区にもうひとつ、人が大勢集まる核を作りたい。今の建物は、ほとんど人が入っていない。市の建物であり、民が勝手に利活用することは出来ないが、来訪者をなんとか取り込みたい。

(協議会長) 本日の意見を受け、市当局でも活性化方策を検討いただきたい。

## 6) 主要事業の進捗状況等について

### ① 旧高田共同ビル(あすとびあ高田)の状況について

事業者の三井企画株式会社より、テナント入退店及び入館者数など報告。

- ・1階食品スーパー跡地の後継テナントについては、鋭意探索中。
- ・2階部分は、日本政策金融公庫の入居が決定。開店は、11月2日の予定。
- ・入館者数は、1階食品スーパーの営業時が月当たり1.0~1.2万人だったが退去後は大きく減少。通りに面している2店舗は来店客数を維持。
- ・駐車場は、利用者が減少傾向も、収益を維持。

### ② 大和跡地拠点施設整備事業(イレブンプラザ)の状況について

事業者の株式会社イレブンビルより、来館者数及びテナント入退店並びにイベント広場活用など報告。

- ・本年4-8月の来館者数は19.5万人。前年同期より3,000人、1.5%の減少。
- ・昨年1年間の来館者数は46.8万人。本年も昨年並みの水準で推移。
- ・1階の蕎麦店は7月31日付けで閉店。居抜きを優先に、後継先を探索中。
- ・イベント広場では、高田本町まちづくり株式会社に業務委託し、子供向けの本町キッズパーク、商店街個店によるワークショップ、本町商店街PRアイドル「がんぎっこ」のライブなど様々なイベントを毎週末に実施中。

### ③ 新水族博物館を核とした地域活性化検討会の状況について

主管の上越市産業振興課 商業・中心市街地活性化推進室より、別添資料に基づき、ワークショップの実施状況及び今後の予定など報告。

## 【総括質疑・意見交換】

(市) 中活PGMは、商店街や地元の皆さまなど市民を主役としてまちづくりを進める施策であり、市は側面から支援するというものである。28年度に向けてどうしていくかは、市民団体や商工会などと協議して決めたい。市が何かをする、市が何かを作る—というのではなく、市民の皆さまとともに作り上げていきたい。今後ご理解とご協力をお願いしたい。

以上